

【河川】国、県、市、町の危機管理担当者による 「最上川上流危機管理演習（村山地区）」を実施

平成30年9月27日
山形河川国道事務所

1. 背景／目的

○背景

全国的に大きな豪雨災害が起きており、山形県内でもいつ大雨に襲われ、水害が起こってもおかしくない状況である。

○目的

大規模洪水時に市町が担う役割を再確認するもので、市町が実施する住民避難の検討、避難情報の発令、被災状況の把握及び関係機関との情報共有に重点を置いて実施。的確な情報伝達と**危機管理担当者の災害対応能力の向上**を図り、豪雨災害に備えることを目的。

2. 演習概要

- 日時 : 平成30年 9月27日(木) 10:00～15:00
 - 開催場所 : ヒルズサンピア山形 2F蔵王
 - 参加者 : 山形市、上山市、東根市、山辺町、山形県、
山形河川国道事務所 40名
 - 演習方法
 - ①簡易ロールプレイング訓練
気象状況や河川水位の状況に応じたいくつかの段階毎に対応行動等の手順を確認した。
 - ②課題解決型DIG (Disastr Imagination Game) 訓練
予め対応方法が検討されていない突発的に起こる事象に対して、限られた状況の中で最善行動をディスカッションしながら検討を行った。
- 【山形市】蔵王ダム(県)の異常洪水時防災操作実施にあたり市民を如何に避難させるか。
【上山市】前川ダム(県)の異常洪水時防災操作実施にあたり市民を如何に避難させるか。
【山辺町】避難所が浸水により孤立。どのようにして安全を確保するのか。

4. 主な感想・意見

- 各機関の連携をスムーズに取り、市民が一人でも多く避難していただけるように早め早めの対応を行っていきたい。
- 情報を迅速に収集する大切さを改めて実感した。

3. 演習の状況

